

令和7年度

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ
「製造分野」「建設関連分野」の分析

【製造・建設関連分野】

- ・愛知県（名古屋高等技術専門校） 2コース
（三河高等技術専門校） 2コース
- ・独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部
(ポリテクセンター中部) 4コース

愛知県
独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部
愛知労働局

公的職業訓練効果検証ワーキンググループについて

目的

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、適切かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて、訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図ることとする。

検証手法

検証手法は、①公的職業訓練の訓練修了者、②訓練修了者の採用企業及び③訓練実施機関に対するヒアリングにより行うものとする。

検証対象コースの選定

ア 予め協議会にて検証対象となる訓練分野を選定しておき、WGでは当該訓練分野の中で訓練修了者が比較的多い訓練コースを3コース（ただし、異なる訓練実施機関が実施するものとすること。）以上選定する。

イ 検証対象は、アで選定したコースの訓練実施機関と、各訓練コースにつき訓練修了者1人以上、当該訓練修了者を採用した採用企業1社以上とする。具体的には、3コースを選定すると、訓練実施機関3者、訓練修了者3人以上及び採用企業3社以上が対象となる。

以上「公的職業訓練効果検証ワーキンググループ実施要領」より抜粋

製造分野・建設関連分野（施設内訓練）の実施状況

令和6年度公共職業訓練（施設内訓練）の実施状況（令和6年12月末現在）

		コース数	定員	受講申込者数	受講者数 うち女性	応募倍率	定員充足率	(参考) 5年度就職率	状況・課題
製造分野	愛知県 (施設内訓練)	9	240	211	154 55	87.9%	64.2%	80.9%	<ul style="list-style-type: none"> 受講申込者数は減少傾向、応募倍率の平均は100%を下回り及び定員充足率60%台と低調 金属関連分野など定員充足率が半数に満たないコースあり 受講者確保が課題 就職率は80%以上で安定
	ポリテクセンター (施設内訓練)	20	250	295	218 42	118.0%	87.2%	86.9%	<ul style="list-style-type: none"> 受講申込者数等はやや減少するも、応募倍率は100%を超える定員充足率も約9割と安定しており堅調 就職率は85%以上で安定
建設関連分野	愛知県 (施設内訓練)	6	180	108	82 38	60.0%	45.6%	88.7%	<ul style="list-style-type: none"> 受講申込者数は減少、応募倍率60%台で定員充足率も50%未満と低調 受講者確保が課題 就職率は約9割と良好
	ポリテクセンター (施設内訓練)	7	126	155	117 43	123.0%	92.9%	93.1%	<ul style="list-style-type: none"> 受講申込者数等は増加し、応募倍率は120%前後で推移、定員充足率も9割を超え安定しており堅調 就職率は90%前後で良好

⇒公共職業訓練（施設内訓練）の**製造分野・建設関連分野**について、
就職率は高いものの、応募倍率、定員充足率が低くなっていること、受講者確保に課題があることを確認。

令和7年度における効果検証分野について

検証分野

○令和6年度第2回愛知県地域職業能力開発促進協議会にて、「**地域の人材ニーズが高く、就職率は高いものの、定員充足率が低調なコース**」のある「**製造分野**」、「**建設関連分野**」の中から訓練コースを選定し効果検証を行う。」こととした。

(選定理由)

- ・製造業が基幹産業である愛知県においては、ものづくり人材の育成促進及びあらゆる産業の基盤を支える建設関連分野の人材育成が不可欠であるため。
- ・2028年技能五輪国際大会の開催が決定しており、ものづくり人材の育成促進により大会機運の醸成になるものであるため。

検証の方法

○愛知労働局、愛知県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構愛知支部（以下「JEED」という。）をワーキンググループの構成員として効果検証に取り組む。

○公共職業訓練（施設内訓練）の「製造分野」、「建設関連分野」のうち効果検証する訓練コースについては以下から選定する。

愛知県：愛知県立高等技術専門校にて実施する訓練コースから選定

JEED：中部職業能力開発促進センター（以下「ポリテクセンター中部」という。）にて実施する訓練コースから選定する。

効果検証の方法 《検証事項》

令和7年度は、「定員充足に向けての効果検証」であることから、以下の事項を中心に効果検証に取り組む。

【検証事項】

①製造分野、建設関連分野の訓練受講者の現状把握

⇒年齢、性別、前職、訓練検討開始時期など、訓練受講前の状況等の把握・検証

②求職者が訓練受講にあたって重視する事項の把握・検証

⇒訓練カリキュラム、通学の利便性、資格・免許、収入・生活面等の把握・検証

③訓練内容（カリキュラム、定員、開講時期、訓練期間等）の検証

⇒愛知県とポリテクセンターの訓練内容を比較し、共通点・相違点などの把握・検証

④訓練周知・広報（説明会、見学会、SNS等）の検証

⇒訓練の周知・広報として有効なものの把握・検証

⑤その他（定員充足に向けて有効な取組の検証）

令和7年度における効果検証の方法

①訓練受講者へのアンケート調査の実施（訓練受講者の現状・訓練選択理由等の把握）

愛知県とポリテクセンター中部の訓練コースの訓練受講者に対してアンケート調査を実施する。

- ・訓練受講者の現状（年齢、性別、前職など、訓練受講前の状況等）
- ・訓練受講にあたって重視した事項（カリキュラム、利便性、資格・免許）訓練を選択した理由、等を把握し、訓練受講者の意思決定に及ぼす影響の大きい事項を確認する。

②訓練内容の比較検証

愛知県とポリテクセンターの訓練コースの内容（カリキュラム、開講時期、訓練期間等）や「周知・広報（見学会等）の実施状況等を項目別に整理し、比較検証する。

⇒共通点、相違点を整理し、定員充足に資すること、訓練応募者の意思決定に影響する事項を確認する。

③訓練受講者の現状・訓練選択理由と訓練内容との相関関係の検証

①及び②により把握した内容により相関関係を検証分析し、定員充足が低調な要因、課題を明らかにする。

効果検証 訓練コースの選定 ①

「製造分野」

金属加工系の訓練コースは、愛知県及びポリテクセンター中部の双方の定員充足が低調であるため、双方の課題（共通課題）を検証することとし、以下の訓練コースを検証対象として選定する。（現在開講中の訓練コース又は直近の終了コース）

愛知県

訓練実施機関名	科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率	訓練開始 (年月)	訓練期間	備考
名古屋	金属加工科	30名	5名	2名	16.7%	6.7%	R7.4	6ヶ月	※4月・10月開講
三河	金属加工科	30名	12名	10名	40.0%	33.3%	R7.7	6ヶ月	※7月・1月開講

ポリテクセンター中部

科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率	訓練開始 (年月)	訓練期間	備考
NC機械加工科 (※R7から"機械加工エンジニア科"に変更)	16名	10名	5名	62.5%	31.3%	R6.10	6か月	※10月開講
クラフト溶接科	15名	11名	9名	73.3%	60.0%	R7.6	6か月	※6月・12月開講

効果検証 訓練コースの選定 ②

「建設関連分野」 住宅系の訓練コースについては、愛知県の定員充足が低調であることから、ポリテクセンター中部が実施する類似訓練コースと比較検証することとし、以下の訓練コースを検証対象として選定する。（現在開講中の訓練コース）

愛知県

訓練実施機関名	科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率	訓練開始 (年月)	訓練期間	備考
名古屋	インテリア科	30名	26名	19名	86.7%	63.3%	R7.4	6ヶ月	※4月・10月開講
三河	インテリア科	30名	24名	18名	80.0%	60.0%	R7.4	6ヶ月	※4月・10月開講

ポリテクセンター中部

科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率	訓練開始 (年月)	訓練期間	備考
住宅診断CADプランナー科 (※R7から“住宅CAD・プランニング科”に変更)	22名	23名	20名	104.5%	90.9%	R7.3	6か月	※6月、9月、12月、3月開講 その他のCAD（機械設計等）コース複数設定
住宅CAD・プランニング科	22名	26名	22名	118.2%	100.0%	R7.6	6か月	※6月、9月、12月、3月開講 その他のCAD（機械設計等）コース複数設定

訓練受講者へのアンケート調査の実施

訓練修了者へのアンケート調査の実施（令和7年6月～7月実施）

（対象者） 効果検証の対象コースの訓練受講者（令和7年6～7月時点の訓練受講者）

※ポリテクセンター中部のNC機械加工科（R6.10開始）については、7月時点で訓練が終了していたため、訓練修了者（3月終了）を対象にアンケート調査を実施した。

（内容） 訓練受講理由、開講希望時期、見学会の参加等（P.10に記載）

（実施方法） 訓練受講者には、教室での配布し回収（令和7年6月～7月実施）
訓練修了者には郵送で配布し回収（令和7年7月実施）

（アンケートの実施状況）

対象者	愛知県	49名	ポリテクセンター中部	56名	計	105名
-----	-----	-----	------------	-----	---	------

回答数	愛知県	48名	ポリテクセンター中部	51名	計	99名
-----	-----	-----	------------	-----	---	-----

回収率	愛知県	98.0%	ポリテクセンター中部	91.1%	計	94.3%
-----	-----	-------	------------	-------	---	-------

訓練受講者へのアンケート調査項目

職業訓練受講者（受講終了者）用

職業訓練に関するアンケート調査項目

質問 1	性別を教えて下さい。	質問 9	質問8で選択した時期以降に開講（開始）される訓練であった場合、訓練を受講（選択）しましたか。
質問 2	年齢を教えて下さい。	質問 10	質問9で「（2）受講しなかった」とお答えになった方にお尋ねします。「受講しなかった」と思われる理由をお答えください。 （※複数回答可）
質問 3	訓練受講前（直近）の仕事は、どのような雇用形態（あるいは自営等）でしたか？	質問 11	自分が検討できる訓練の開講（開始）時期として適当と思われるものをお答えください。
質問 4	訓練受講前（直近）の仕事は、どのような仕事（職種）でしたか？ （※質問3で「⑥未就業（直近1年以内）とした方は回答不要です。」）	質問 12	訓練実施機関が実施する見学会（説明会）に参加しましたか。
質問 5	どのような雇用形態の就職を希望していますか？（※複数回答可） （※受講終了した方は、受講中に希望していた雇用形態（又は現在の雇用形態）をご回答ください。）	質問 13	質問12で「（1）参加した」と回答された方にお尋ねします。見学会（説明会）の参加は、訓練受講を決める上で参考になりましたか。
質問 6	受講している（受講した）訓練コースはどのようなきっかけで知りましたか。	質問 14	この職業訓練を選ぶ際に、他に比較検討したコースはありましたか。
質問 7	この訓練コースを受講（選択）した理由は何ですか。 （※複数回答可）	質問 15	質問14で比較検討したコースが「（1）比較検討コースあった」とお答えになった方について、そのコースを教えてください。
質問 8	訓練の受講を検討した時期と訓練の開講（開始）時期との関係についてお答えください。	質問 16	質問14で「（1）比較検討コースあった」とお答えになった方について、比較検討の結果、現在受講している（受講終了した）訓練コースを選択した理由を教えてください。（※複数回答可）

訓練内容の比較検証

【訓練内容・比較検証項目】

- 1 定員
 - 2 受講申込者数（応募者数）
 - 3 開校時受講者数
 - 4 応募倍率
 - 5 定員充足率
 - 6 募集期間
 - 7 訓練期間（開始日、終了日）
 - 8 訓練月数又は年数
 - 14 訓練内容（カリキュラム等）
 - 15 取得可能免許・資格
 - 16 ハローワークとの連携状況
 - ・訓練担当との連絡
 - ・雇用保険説明会等における周知
 - ・ハローワーク職員を対象とした見学会の開催
 - 17 周知方法
 - ・紙媒体の配付（自治体等への送付）
 - ・ホームページによる周知（アクセス数把握していれば）
 - ・SNSによる周知
 - ・その他（イベント等による周知）
 - 18 求職者向け見学会・説明会の設定
 - ・設定の有無
 - ・設定回数
 - ・開催場所
 - ・参加人数
 - ・見学会等の参加者のうち受講申込者数（把握していれば）
 - ・見学会の実施にあたって工夫していること（求職者に訓練内容を理解してもらうための工夫）
 - 19 その他受講者募集にあたって工夫していること
 - 20 受講者募集にあたって課題と認識していること
- (参考) 訓練修了者数（就職退校含む）
就職者数（就職退校含む）
就職率

訓練コース・定員・開講時期の検証

愛知県とJEED（ポリテクセンター中部）とともに訓練受講者の8割以上が、3か月以内に開講される訓練を選択していた。

○訓練の受講を検討した時期と訓練の開講（開始）時期 (受講者アンケート調査 問8)

製造分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	金属加工科 (名古屋・三河)		NC機械加工科・クラフト溶接科	
1か月後の訓練	6名	54.5%	6名	50.0%
2か月後の訓練	3名	27.3%	2名	16.7%
3か月後の訓練	1名	9.1%	3名	25.0%
4か月後の訓練	0名	0.0%	0名	0.0%
5か月後の訓練	0名	0.0%	0名	0.0%
6か月後の訓練	1名	9.1%	1名	8.3%
計	11名	100.0%	12名	100.0%

建設関連分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	インテリア科 (名古屋・三河)		住宅診断CADプランナー科	
1か月後の訓練	15名	41.7%	16名	41.0%
2か月後の訓練	8名	22.2%	6名	15.4%
3か月後の訓練	8名	22.2%	10名	25.6%
4か月後の訓練	1名	2.8%	2名	5.1%
5か月後の訓練	0名	0.0%	0名	0.0%
6か月後の訓練	4名	11.1%	5名	12.8%
計	36名	100.0%	39名	100.0%

○訓練が現在の開始時期以降であった場合、3割～4割の者が「受講しなかった」と回答。（愛知県は38%、JEEDは28%）(受講者アンケート調査 問9)

製造分野・建設関連分野 合算

	愛知県		ポリテクセンター	
	全体	全体	全体	全体
受講した	29名	61.7%	37名	72.5%
受講しなかった	18名	38.3%	14名	27.5%
計	47名	100.0%	51名	100.0%

○上記の者に「受講しなかった」とする理由を確認したところ以下の結果であった。(受講者アンケート調査 問10)

製造分野・建設関連分野 合算 (※複数回答)

	愛知県		ポリテクセンター	
	全体 (18名)	全体 (14名)	全体 (18名)	全体 (14名)
生活・収入・経済的な理由	7名	38.9%	4名	28.6%
雇用保険受給日数の関係	6名	33.3%	5名	35.7%
早期に就職したい	4名	22.2%	2名	14.3%
他の講座（教育訓練、民間講座）の機会があるため	2名	11.1%	5名	35.7%
その他	1名	5.6%	1名	7.1%

訓練コース・定員・開講時期の検証

生活、収入面、雇用保険の失業給付の受給日数等の理由により、訓練の受講にあたっては、概ね3か月以内に開講される訓練を検討対象とする者が多いことを確認した。

○自身が検討できる訓練の開講（開始）時期（受講者アンケート問11）

製造分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	金属加工科 (名古屋・三河)		NC機械加工科・クラフト溶接科	
1か月以内開始	1名	9.1%	2名	16.7%
2か月以内開始	4名	36.4%	5名	41.7%
3か月以内開始	4名	36.4%	3名	25.0%
4か月以内開始	1名	9.1%	0名	0.0%
5か月以内開始	1名	9.1%	0名	0.0%
6か月以降開始も検討	0名	0.0%	2名	16.7%
計	11名	100.0%	12名	100.0%

建設関連分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	インテリア科 (名古屋・三河)		住宅診断CADプランナー科	
1か月以内開始	7名	19.4%	6名	15.4%
2か月以内開始	9名	25.0%	17名	43.6%
3か月以内開始	13名	36.1%	8名	20.5%
4か月以内開始	1名	2.8%	0名	0.0%
5か月以内開始	0名	0.0%	2名	5.1%
6か月以降開始も検討	6名	16.7%	6名	15.4%
計	36名	100.0%	39名	100.0%

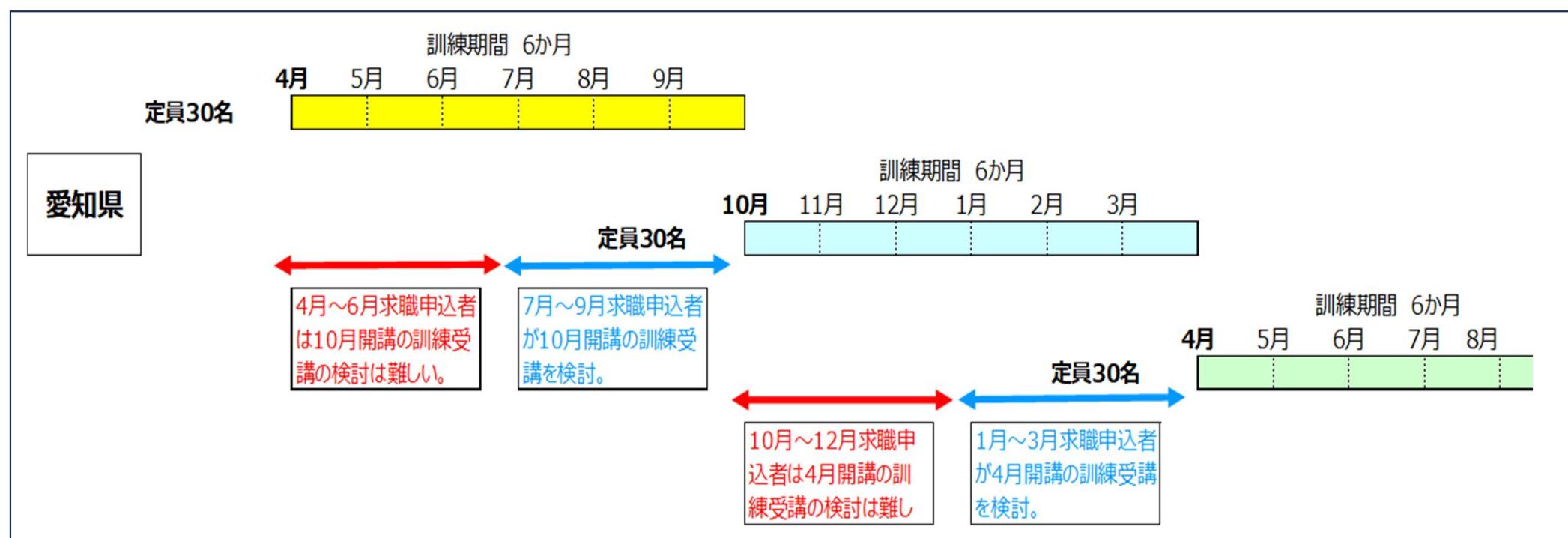
○求職者の訓練受講の検討にあたっては、『訓練開始時期』がその意思決定に大きな影響を及ぼしている。

○定員充足にあたっては、これらの受講ニーズ（3か月以内の訓練がターゲットとなること）を踏まえた対応を検討する必要がある。

訓練コース・定員・開講時期の検証

○愛知県の施設内訓練の開講時期、定員数について

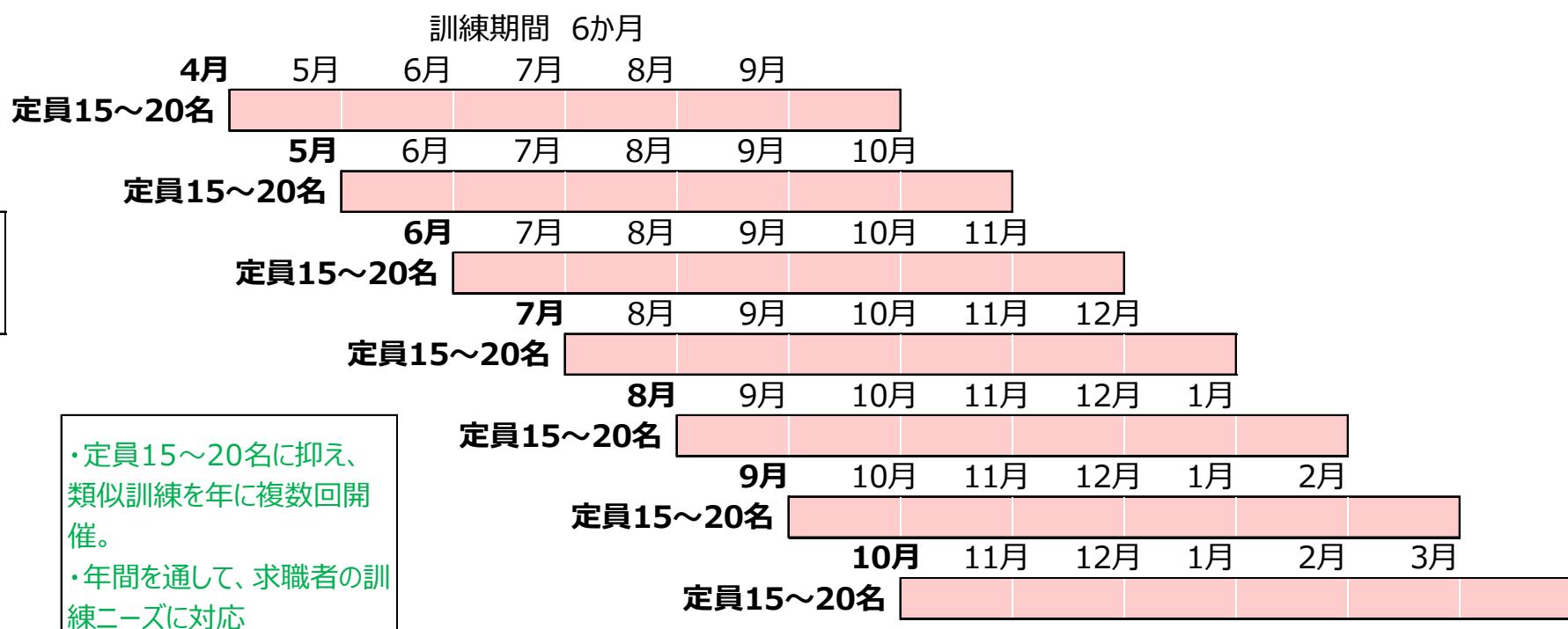
- ・愛知県の訓練コースは、訓練開講時期が、主に4月又は10月に集中しており、訓練期間は、6か月又は1年、定員30名の設定となっている。
- ・同一の訓練コースの開講間隔が6か月～1年となっており、求職者の訓練受講ニーズ（3か月以内の訓練を選択する者が多い現状）とミスマッチが生じている。
- ・潜在的な訓練受講ニーズを捉え切れていない。



訓練コース・定員・開講時期の検証

○JEEDの施設内訓練の開講時期、定員数について

- ・JEEDの訓練コースは、定員数を15～20名程度とし、特定の時期に集中することなく、類似の訓練コースを複数回設定し、毎月、何らかの訓練が開講される状況となっている。訓練受講ニーズにマッチする形で訓練コースが設定され、年間を通して、受講者の募集が行われている。
⇒年間を通して募集活動が行われることにより求職者の認知度の向上につながっている。



訓練コース・定員・開講時期の検証

・愛知県とJEEDにおいて、訓練コースごとで、**定員充足率に差はあるものの、コースごとの応募者数（実数）の差は少なく、定員の設定数の違いにより定員充足率に差が生じている。**

製造分野

愛知県

訓練実施機関名	科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率
名古屋	金属加工科 (4月・10月開講)	30名	5名	2名	16.7%	6.7%
三河	金属加工科 (7月・1月開講)	30名	12名	10名	40.0%	33.3%

ポリテクセンター中部

科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率
NC機械加工科 (※R7から“機械加工技術科”に変更)	16名	10名	5名	62.5%	31.3%
クラフト溶接科	15名	11名	9名	73.3%	60.0%

建設関連分野

愛知県

訓練実施機関名	科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率
名古屋	インテリア科 (4月・10月開講)	30名	26名	19名	86.7%	63.3%
三河	インテリア科 (4月・10月開講)	30名	24名	18名	80.0%	60.0%

ポリテクセンター中部

科名・コース名	定員	受講申込者数 (応募者数)	受講者数 (開校時)	応募倍率	定員充足率
住宅診断CADプランナー科 (※R7から“住宅CAD・プランニング科”に変更)	22名	23名	20名	104.5%	90.9%
住宅CAD・プランニング科	22名	26名	22名	118.2%	100.0%

※差は少ない

※差は少ない

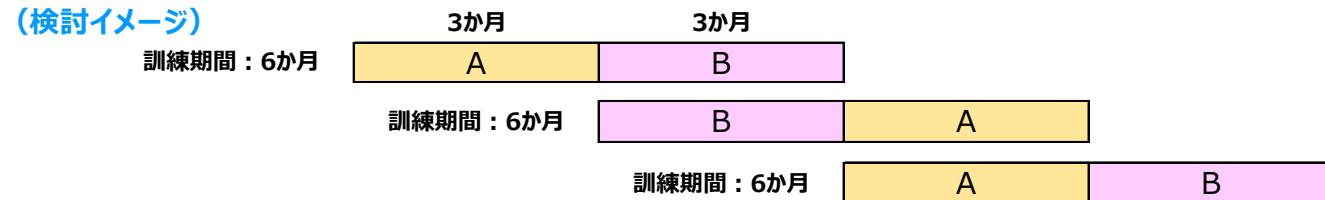
訓練コース・定員・開講時期の検証

【課題】

- ・訓練の周知広報の強化、訓練受講を検討する者の総数を増やすこと、裾野を広げていくことが必要であるが、これに取り組みつつ、訓練受講ニーズに応じた訓練を設定していく必要がある。
- ・離職の時期など個々の事情は様々であり、訓練の開講時期が年1～2回に限定されることなく、離職者に対して十分な訓練受講の機会を提供していくこと、潜在的な訓練受講ニーズを捉えることが必要。（現状、愛知県の施設内訓練は、1年又は半年待たなければならない状況。）

【取組・方向性】

- 愛知県において、訓練開講時期及び訓練定員数の見直しを行うことにより、訓練を受講する機会が増えることで、定員充足率の向上が見込める。
- 県では訓練期間の6か月毎（1つの仕上がり像毎）に受講機会を設定している現状であるため、例えば3か月毎に仕上り像を設定する仕組みの整理・検討を行い、これにより訓練開講時期の分散化を検討する。



※3か月を1ユニットとして、技能習得の仕上がりを想定したカリキュラムを設定する。

- 上記に加え、類似した訓練科を設定し、受講機会を増やすことも検討する。

訓練コースを知ったきっかけ

● 訓練コースを知ったきっかけ

- ・愛知県とJEEDのいずれもハローワークにて訓練コースを知ったという者が最も多く、次いで、家族・知人がきっかけとなった者が多い。
- ・また、訓練校ホームページや労働局ホームページにて訓練コースを知るきっかけになった者は、JEEDでは1～2割程度占めたが、愛知県は少なかった。

製造分野

	愛知県	ポリテクセンター		
金属加工科 (名古屋・三河)		NC機械加工科 ・クラフト溶接科		
ハローワーク	9名	81.8%	8名	66.7%
家族・知人	2名	18.2%	2名	16.7%
労働局HP	0名	0.0%	0名	0.0%
訓練校HP	0名	0.0%	2名	16.7%
SNS	0名	0.0%	0名	0.0%
その他	0名	0.0%	0名	0.0%
計	11名	100.0%	12名	100.0%

建設関連分野

	愛知県	ポリテクセンター		
インテリア科 (名古屋・三河)		住宅診断CAD プランナー科		
ハローワーク	32名	88.9%	30名	76.9%
家族・知人	1名	2.8%	3名	7.7%
労働局HP	0名	0.0%	2名	5.1%
訓練校HP	2名	5.6%	3名	7.7%
SNS	0名	0.0%	0名	0.0%
その他	1名	2.8%	1名	2.6%
計	36名	100.0%	39名	100.0%

訓練コースを知ったきっかけ

【課題】

- ・愛知県とJEEDともに訓練コースを知るきっかけはハローワークが7割～9割を占めており、引き続きハローワークにおける周知・広報を重点に取り組んでいく必要がある。
- ・また、一方、今後、より一層、訓練受講者を確保していくには、ハローワーク以外での周知広報を拡充していく必要がある。
- ・特に愛知県の訓練コースにおいては、ホームページをきっかけに受講する者の割合が相対的に低いため、JEEDと同程度の割合まで引き上げることができれば、訓練受講者数はおよそ1割程度の増加が見込まれる。

【取組】

- ・愛知県とJEEDのホームページの公開内容を比較・検証し、内容の充実を図る。
- ・各サイトの閲覧件数を確認し、閲覧数が多い要因を分析するなど、効果的な情報発信の方法を検討する。

訓練選択理由

・訓練カリキュラムを選択理由とする者 (受講者アンケート調査 問7)

愛知県とポリテクセンターのいずれも「訓練カリキュラム」を選択理由とする者が多いが、ポリテクセンターの訓練受講者の方がより多く（2～3割多く）選択理由としていた。

（製造分野：愛知県36.4% ポリテク58.3% 建設関連分野：愛知県58.3% ポリテク87.2%）

・習得できる資格・免許を選択理由とする者

「資格・免許の習得」を約4割の受講者が選択理由として挙げた。（建設関連ポリテクセンター除く）

（製造分野：愛知県45.5% ポリテク41.7% 建設関連分野：愛知県44.4% ポリテク 5.1%）

・通学の利便性を選択理由

愛知県の訓練は、「通学の利便性」を選択理由とする者が3～4割。

・就職支援（就職率が高い）を選択理由

ポリテクセンターの訓練は、「就職支援（就職率が高いこと）」を選択理由とする者が約2割。

※左記を踏まえた周知広報を図る。

製造分野 (複数回答)	回答者		建設関連分野 (複数回答)		回答者	
	愛知県 11名	ポリテクセンター 12名	愛知県 36名	ポリテクセンター 39名		
訓練内容（カリキュラム）	4名 36.4%	7名 58.3%	訓練内容（カリキュラム）	21名 58.3%	34名 87.2%	
自分の適性に合う	4名 36.4%	4名 33.3%	自分の適性に合う	10名 27.8%	11名 28.2%	
習得できる資格・免許	5名 45.5%	5名 41.7%	習得できる資格・免許	16名 44.4%	2名 5.1%	
通学の利便性	4名 36.4%	0名 0.0%	通学の利便性	9名 25.0%	3名 7.7%	
施設環境（教室、設備、空調など）	2名 18.2%	1名 8.3%	施設環境（教室、設備、空調など）	1名 2.8%	4名 10.3%	
訓練期間	1名 9.1%	2名 16.7%	訓練期間	8名 22.2%	10名 25.6%	
就職支援（就職率）	0名 0.0%	2名 16.7%	就職支援（就職率）	1名 2.8%	7名 17.9%	
その他	0名 0.0%	0名 0.0%	その他	0名 0.0%	1名 2.6%	

見学会、説明会の内容検証について

○訓練受講にあたって見学会に参加した者の割合は、JEEDの方が高く、満足度も高い結果であった。また、訓練選択理由（受講者アンケート問7）に「訓練カリキュラム」を上げる者がJEEDの方が多いなど、見学会の内容が、訓練希望者のニーズにより応える内容になっていると推察されるものであり、その内容の充実が、受講者の確保、定員充足につながっているものと思料される。

製造分野

	愛知県	ポリテクセンター		
	金属加工科 (名古屋・三河)	NC機械加工科 ・クラフト溶接科		
参加した	6名	54.5%	9名	75.0%
参加しなかった	5名	45.5%	3名	25.0%
計	11名	100.0%	12名	100.0%

建設関連分野

	愛知県	ポリテクセンター		
	インテリア科 (名古屋・三河)	住宅診断CAD プランナー科		
参加した	29名	80.6%	35名	89.7%
参加しなかった	7名	19.4%	4名	10.3%
計	36名	100.0%	39名	100.0%

	愛知県	ポリテクセンター		
	金属加工科 (名古屋・三河)	NC機械加工科 ・クラフト溶接科		
とても参考になった	3名	50.0%	3名	33.3%
参考になった	3名	50.0%	5名	55.6%
あまり参考にならなかった	0名	0.0%	1名	11.1%
参考にならなかった	0名	0.0%	0名	0.0%
計	6名	100.0%	9名	100.0%

	愛知県	ポリテクセンター		
	インテリア科 (名古屋・三河)	住宅診断CAD プランナー科		
とても参考になった	12名	41.4%	25名	71.4%
参考になった	17名	58.6%	10名	28.6%
あまり参考にならなかった	0名	0.0%	0名	0.0%
参考にならなかった	0名	0.0%	0名	0.0%
計	29名	100.0%	35名	100.0%

見学会、説明会の内容検証について

見学会・説明会実施状況

訓練実施機関名	名古屋高等技術専門校	名古屋高等技術専門校	三河高等技術専門校	三河高等技術専門校	ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部
科名・コース名	金属加工科	インテリア科	金属加工科	インテリア科	クラフト溶接科（R7.6）	NC機械加工科（R6.10） （※R7から“機械加工技術科”に変更）	住宅CAD・プランニング科（R7.6）	住宅診断CADプランナー科（R7.3）（※R7から“住宅CAD・プランニング科”に変更）
訓練分野	製造分野	建設関連分野	製造分野	建設関連分野	製造分野	製造分野	建築分野	建築分野
定員	30名	30名	30名	30名	15	16	22	22
受講申込者数（応募者数）	5名	26名	12名	24名	11	10	26	23
開校時受講者数	2名	19名	10名	18名	9	5	22	20
応募倍率	16.7%	86.7%	40.0%	80.0%	73.3%	62.5%	118.2%	104.5%
定員充足率	6.7%	63.3%	33.3%	60.0%	60.0%	31.3%	100.0%	90.9%
求職者向けの設定会議	設定回数	専門校主催：年8回、ほか随時見学受け付け HW主催：年2回程度	校内：6回(継続含む) 校外：6回(岡崎及び豊川HW)		2回	1回	8回	4回
	開催場所	専門校 HW（名古屋東・一宮・瀬戸・犬山）	校内 岡崎HW、豊川HW		ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部	ポリテクセンター中部
	参加人数	専門校見学者：約110名 HW主催：未把握	校内合計13名 岡崎HW約25名 豊川HW約15名		29人	34人	43人	33人
・見学会等の参加者のうち受講申込した者の数（把握していれば）		未把握	7名		6人		13人	20人

見学会・説明会参加者のうち受講申込者の割合	-	-	13.2%	-	20.7%	-	30.2%	60.6%
-----------------------	---	---	-------	---	-------	---	-------	-------

見学会、説明会の内容検証について

【課題】

- ・愛知県とJEEDともに就職率が高いことから、訓練カリキュラムを始めとする訓練内容については、大きな差はなく、双方ともに有益な訓練と思料される。
- ・しかしながら、JEEDは、訓練選択理由に「訓練カリキュラム」を上げる者の割合が高く、また、見学会等の参加者の評価も高くなっていることから、見学会等における訓練カリキュラム等の訓練内容の伝え方に差がある可能性があり、それが受講者確保に影響している可能性がある。
- ・訓練内容を的確に伝えること、見学会等の内容の充実を図っていくことが必要と考えられる。

【今後の取組】

- ・愛知県とJEEDが相互に見学会等へ参加し、説明手法や伝達方法を共有し、良い点を取り入れて内容の充実を図る。
- ・見学会参加者のアンケート結果及び見学会参加者と受講申込者の割合を検証し、説明内容、手法の改善を図る。
- ・説明会、見学会の開催回数や参加人数、うち受講申込者数を記録し、相関関係を分析する。
- ・それにより、受講者確保の見込みを逆算し、説明会、見学会の開催回数、参加人数の目標など、周知広報の目標を設定するとともに、広報活動の動機付けを強化し、安定的な受講者確保を推進する。

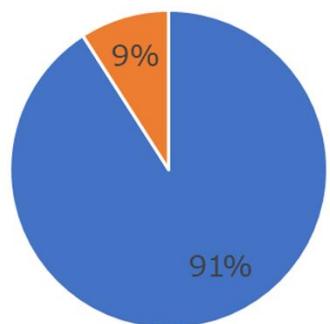
女性受講者の確保

【現状】

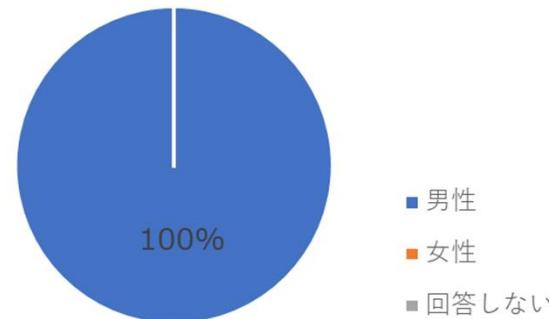
・**製造分野（金属加工系）の訓練コース**については、**男性受講者が大半**を占めており、**愛知県では9割が男性**であり、**JEEDにあっては10割が男性**であるなど、**女性受講者は少ない**。

※愛知県においては、製造業に従事する者の割合が全国に比べて高いが、その一方で、製造業に従事する女性の割合は全国平均を下回っている。

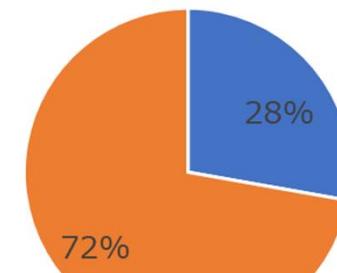
愛知県 金属加工科（名古屋・三河）



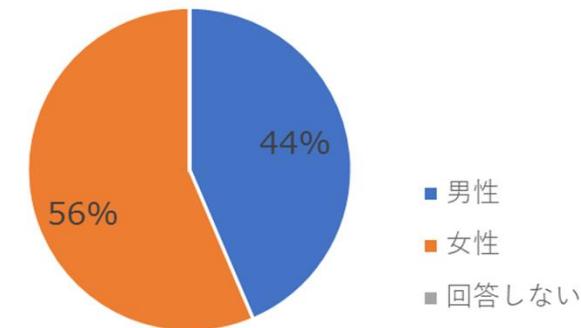
ポリテクセンター中部
NC機械加工科・クラフト溶接科



愛知県
インテリア科（名古屋・三河）



ポリテクセンター
住宅診断CADプランナー科



製造分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	金属加工科 (名古屋・三河)	NC機械加工科 ・クラフト溶接科	金属加工科 (名古屋・三河)	NC機械加工科 ・クラフト溶接科
男性	10名	90.9%	12名	100.0%
女性	1名	9.1%	0名	0.0%
回答しない	0名	0.0%	0名	0.0%
計	11名	100.0%	12名	100.0%

建設関連分野

	愛知県		ポリテクセンター	
	インテリア科 (名古屋・三河)	住宅診断CAD プランナー科	インテリア科 (名古屋・三河)	住宅診断CAD プランナー科
男性	10名	27.8%	17名	43.6%
女性	26名	72.2%	22名	56.4%
回答しない	0名	0.0%	0名	0.0%
計	36名	100.0%	39名	100.0%

女性受講者の確保

【課題】

- ・女性が製造分野の訓練受講に目を向け、受講を検討することにより、定員充足が期待できるものであり、そのためには、女性が製造業に従事することの魅力を感じること、受講しやすい訓練コース等の設定など訓練環境の整備等を図る必要がある。

【取組の方向性】

- ・愛知県、JEEDにおいて、過去に製造分野（金属加工系）の訓練を修了した女性の活躍事例を確認し、製造業に従事するメリットなどをまとめ、女性の受講者の確保に主眼を置いたリーフレットの作成やホームページ等において積極的に発信していく。
- ・女性が受講しやすい短時間訓練などの設定を検討する。
(短時間訓練設定は、女性に限らず、育児・介護等の家庭事情のある者など様々な事情を抱える者が受講機会を得るものとなり、受講者確保につながるものと思われる。)

○令和7年度効果検証ワーキンググループにおける検証・分析した課題

- ①訓練コース、訓練開講時期及び訓練定員数の見直し等
- ②愛知県とJEEDのホームページの比較・検証（有効な周知・広報の把握）
- ③見学会の内容の充実、見学会等の開催と受講申込者数との相関関係の分析
- ④女性受講者の確保（女性活躍事例の収集・発信、短時間訓練の設定等）

上記①～④の課題については、速やかに検討を開始し、次回、令和7年度第2回愛知県地域職業能力開発促進協議会にて、検討の進捗状況を報告するとともに、令和8年度「愛知県地域職業訓練実施計画（総合計画）」に反映できる事項は盛り込む。